

別紙 3

やまなし県有林 J ークレジット共同創出事業に係る企画提案審査基準

審査項目及び配点は（１）のとおりとし、（２）の評価基準に基づき、選定委員会の委員が評価した採点を合計したものを評価点（１００点満点）とする。

各委員の評価点を合計して最高点を得たものから順位を付けるものとする。ただし、順位決定を行う際に、同位の評価点が複数ある場合は、選定委員会で協議の上、共同創出候補者を選定する。

（１）審査基準

	審査項目	内容	配点
1	実施体制	1.業務を適切に実施できる組織体制となっているか 2.森林経営活動方法論（F0-001）に基づく J ークレジット創出及び販売の実績を有しているか 3.プロジェクト登録が確実にできる工程か	15
2	やまなし県有林 J－V E R の買取	県の販売価格と比較した残クレジットの買取価格	15
3	創出量	1.森林経営活動方法論（F0-001）に基づく創出方法であるか 2.創出経費を必要最低限に抑えており、県の取得分が多くなるものであるか 3.創出見込量に対する施業履歴の反映方法など、実現性のある方法となっているか	30
4	販売支援	販売支援（又は買取）の方法は、県の収入が最大かつ安定的にもたらされる方法であるか	15
5	航空レーザデータの活用	1.航空レーザデータを活用して県有林管理に効果のある解析を行い、情報提供を提案しているか 2.解析情報の提供時期と活用方法が県有林管理上、適切か	20
6	その他	J ークレジット販売以外の提案	5
	合計		100

(2) 評価基準

	審査項目	項目	評価の観点と評価方法	配点							
1	実施体制	人員体制	業務ごとの人員配置と役割分担、森林資源解析業務を実施できる技術者の配置計画を1～5の段階で評価	5	15						
		実績	創出実績件数、創出(予定)量、販売実績等を1～5の段階で評価	5							
		スケジュール	令和8度にプロジェクトを開始できる工程、内容であるかを1～5の段階で評価	5							
2	残クレジット買取	買取価格	県の販売価格を次の方法で比較して加点 10,000円(税抜)の場合は5点 以降1,000円上がる毎に1点を加点 (例 11,000円の場合は6点) 20,000円以上は15点、10,000円未満は0点	15	15						
3	創出量	県のクレジット取得量	提案のあった創出見込量を方法、経費、実現性から審査した上で、創出見込量と企業取得分から県取得分を評価 <table><tr><td>創出見込量(A)</td><td>企業が提案</td></tr><tr><td>企業取得分(B)</td><td>創出経費に相当する量</td></tr><tr><td>県取得分</td><td>(A)-(B)</td></tr></table> 最も県の取得量が多い：30点 以下順位に応じて-10点	創出見込量(A)	企業が提案	企業取得分(B)	創出経費に相当する量	県取得分	(A)-(B)	30	30
創出見込量(A)	企業が提案										
企業取得分(B)	創出経費に相当する量										
県取得分	(A)-(B)										
4	販売支援	県取得クレジットに対する販売支援	販売(又は買取)単価の考え方、想定収入額、安定性及び確実性から評価	15	15						
5	航空レーザデータの活用	森林資源情報の解析	県有林の管理や事業に効果のある解析及び情報であるかを提案内容から評価	10	20						
		解析情報の活用	解析情報をどのように活用するか、提供は効果のある時期かなどから評価	10							
6	その他		提案内容から評価	5	5						
			計	100	100						